

2017年3月期 第3四半期 決算概要

2017年2月9日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

第3四半期 決算ハイライト

国内は受注活発化の兆し、海外は現地通貨ベースで好調を維持。
中期経営計画（VC2020）の各施策は計画通りに進捗中。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比98%、269億円。
	日本	前年同期比で横ばいの115億円。家電関連が引き続き軟調となるも自動車関連に受注活発化の兆し。
	中国	為替変動の影響により邦貨ベースでは前年同期比96%の128億円。引き続き自動車関連は好調、加えて高付加価値の戦略製品も伸長。現地通貨ベースでは前年同期を大きく上回った。
	その他	前年同期比で横ばいの24億円。シンガポール、タイ等が低調に推移するも、欧州、ベトナム、インドが好調。
利益		営業利益は前年同期比90%の14億円。原価率が海外を中心に良化するも売上減少の影響等により減益。一方、為替リスクヘッジを行ったことにより、営業外損益が改善し、経常利益は13億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億円。
ネット資金		ベトナム工場関連の投資等により、期首から16億円減少。



決算概況

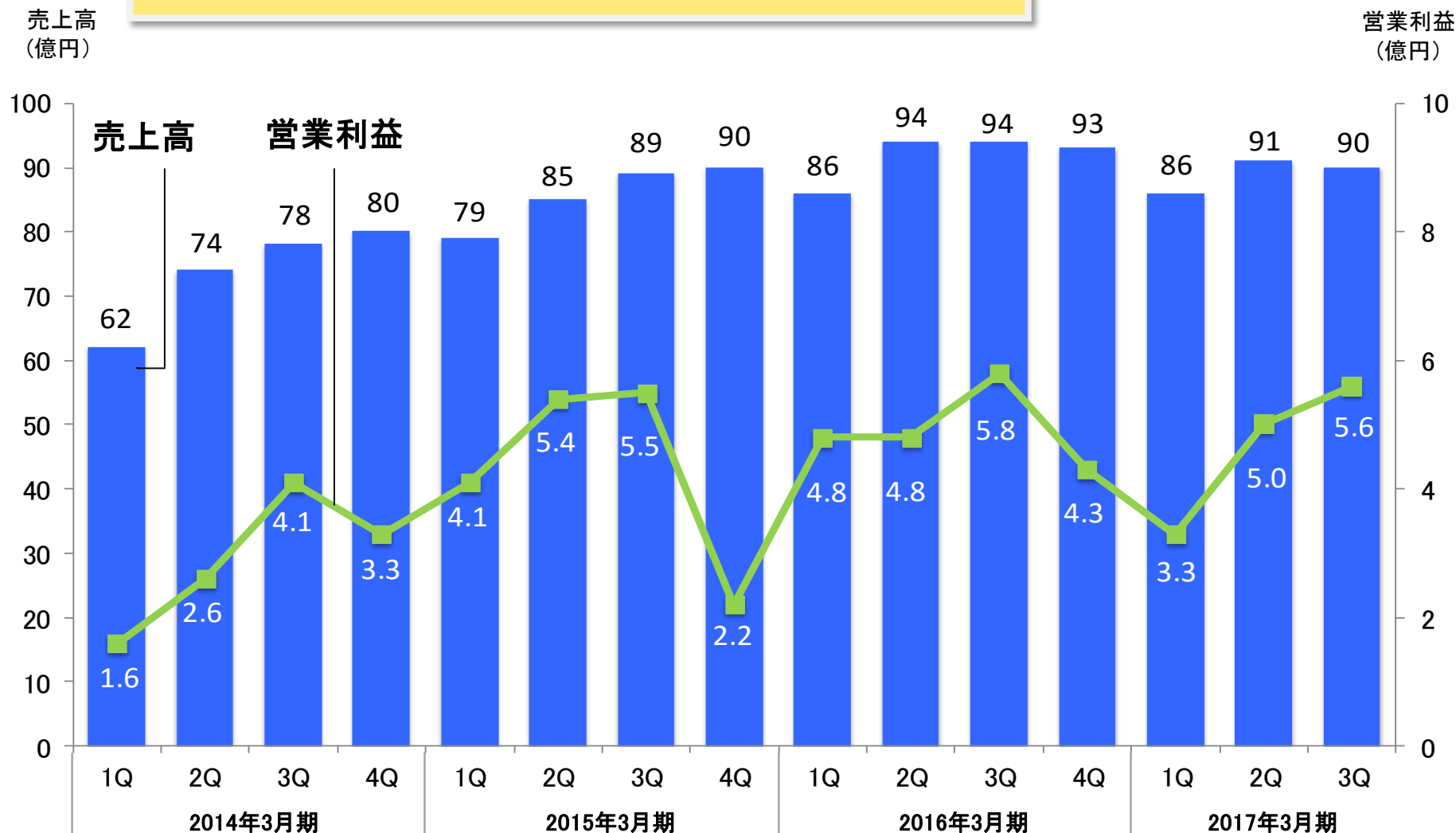
(単位:百万円)

	2016年3月期 第3四半期累計		2017年3月期 第3四半期累計		前年同期差	前年同期比
売上高	27,458		26,926		▲531	98.1%
営業利益	5.6%	1,550	5.2%	1,405	▲145	90.6%
経常利益	4.8%	1,304	5.0%	1,340	36	102.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3.3%	915	3.4%	909	▲5	99.4%



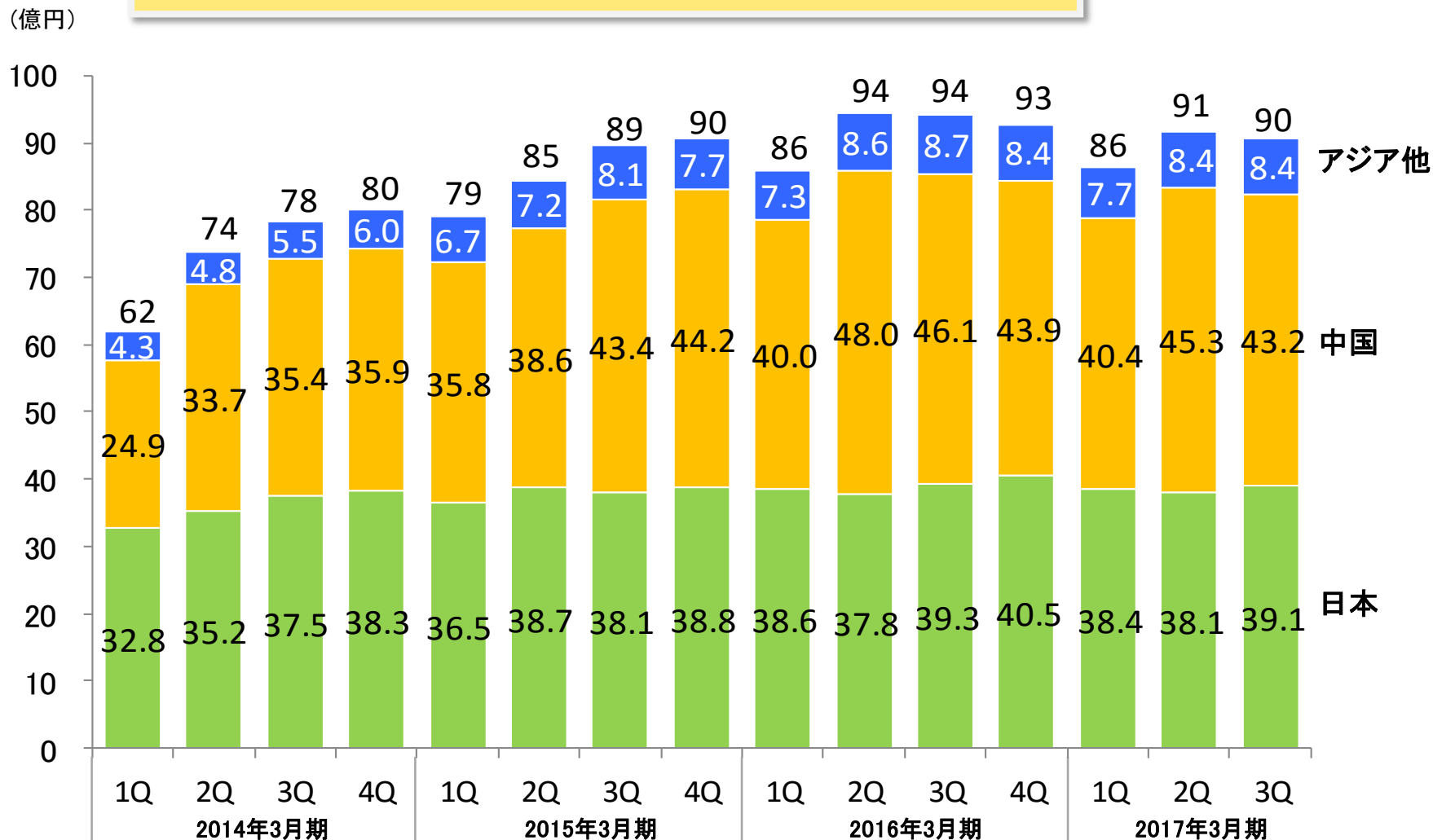
売上高と営業利益の推移

営業利益は四半期ベースで過去最高水準まで回復。



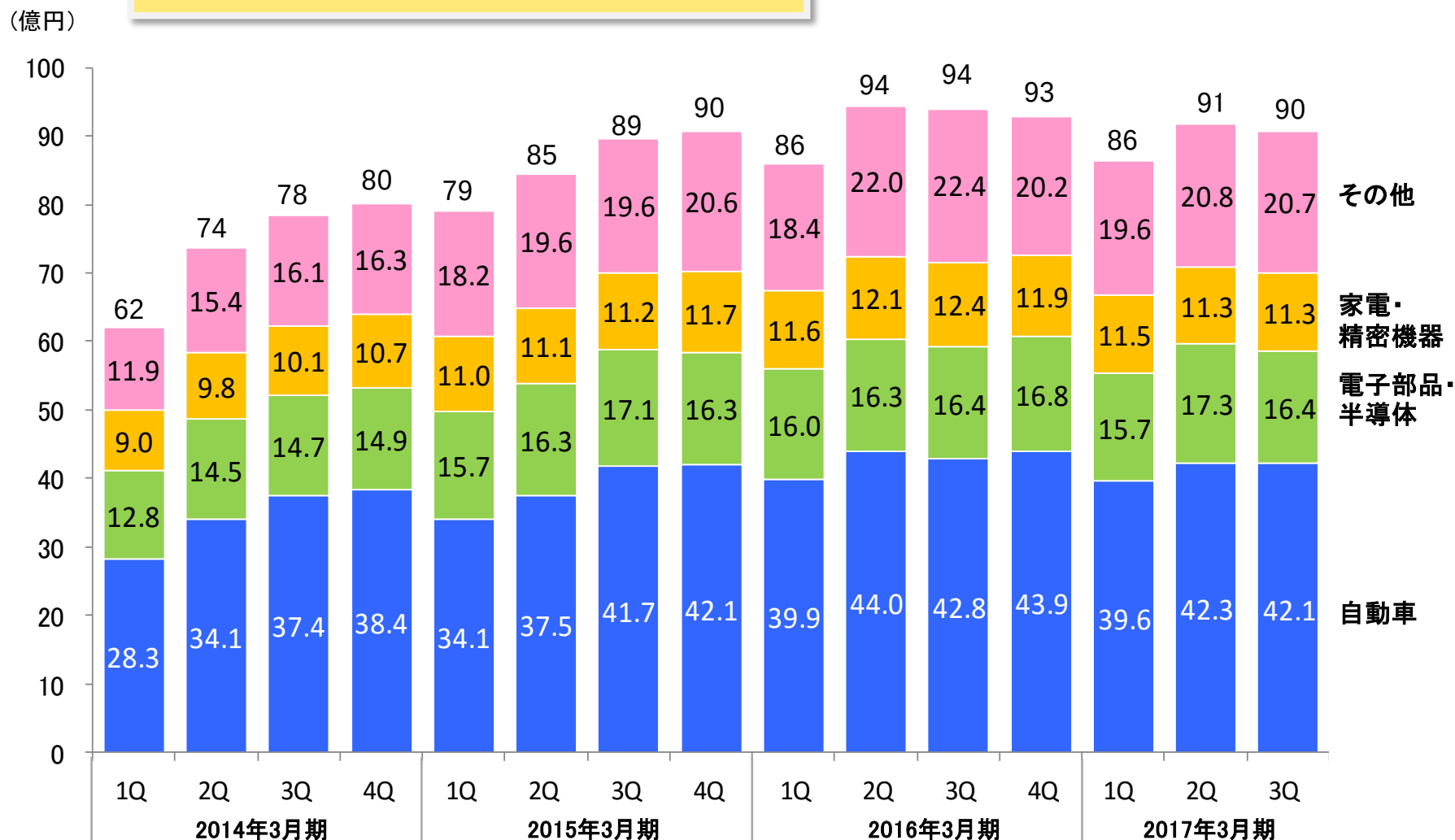
地域別売上高

日本は3Q後半から回復の兆し、海外は引き続き好調。



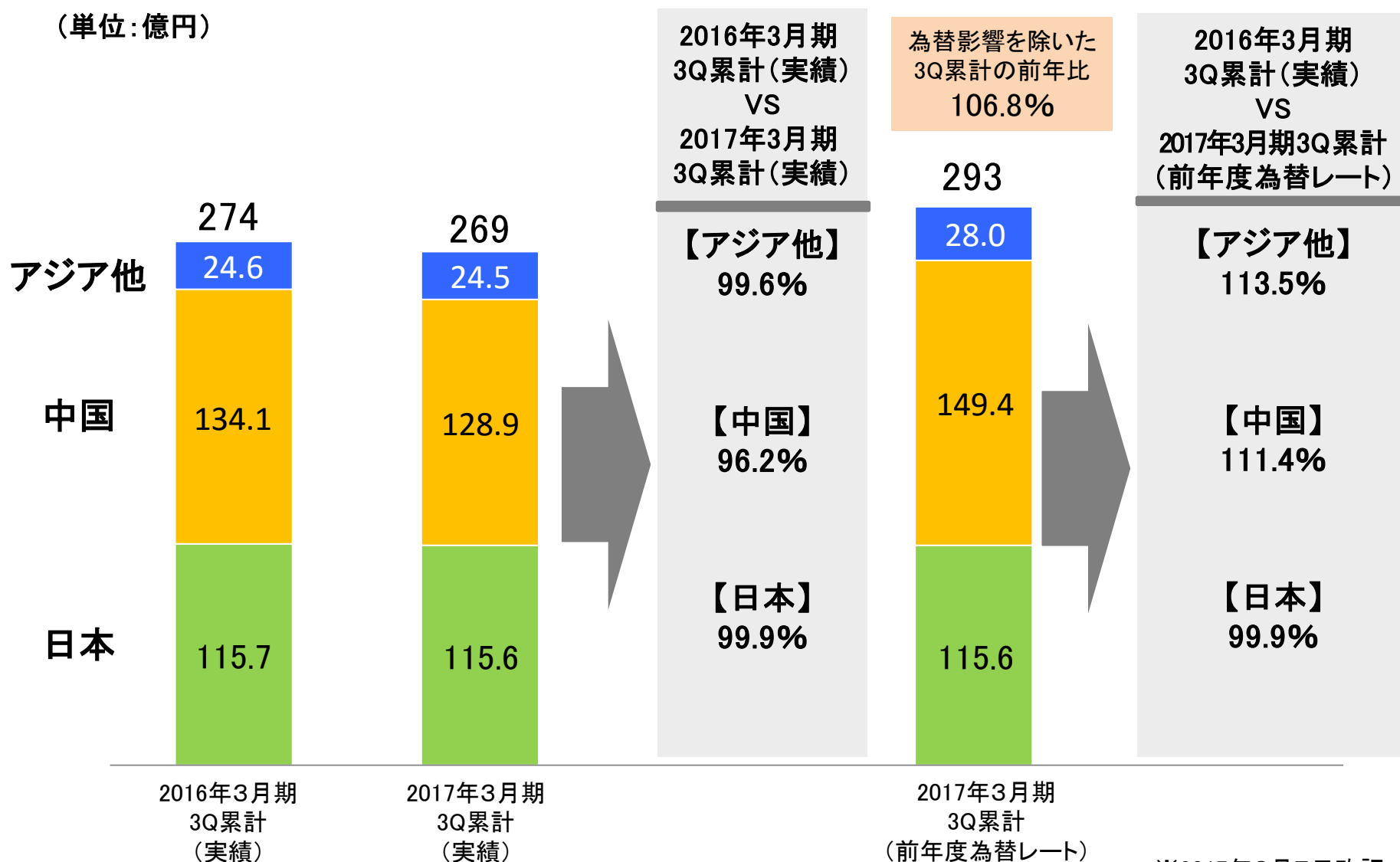
業種別売上高

自動車関連が堅調に推移。



地域別売上高～前年度為替レートベース概算～

(単位:億円)

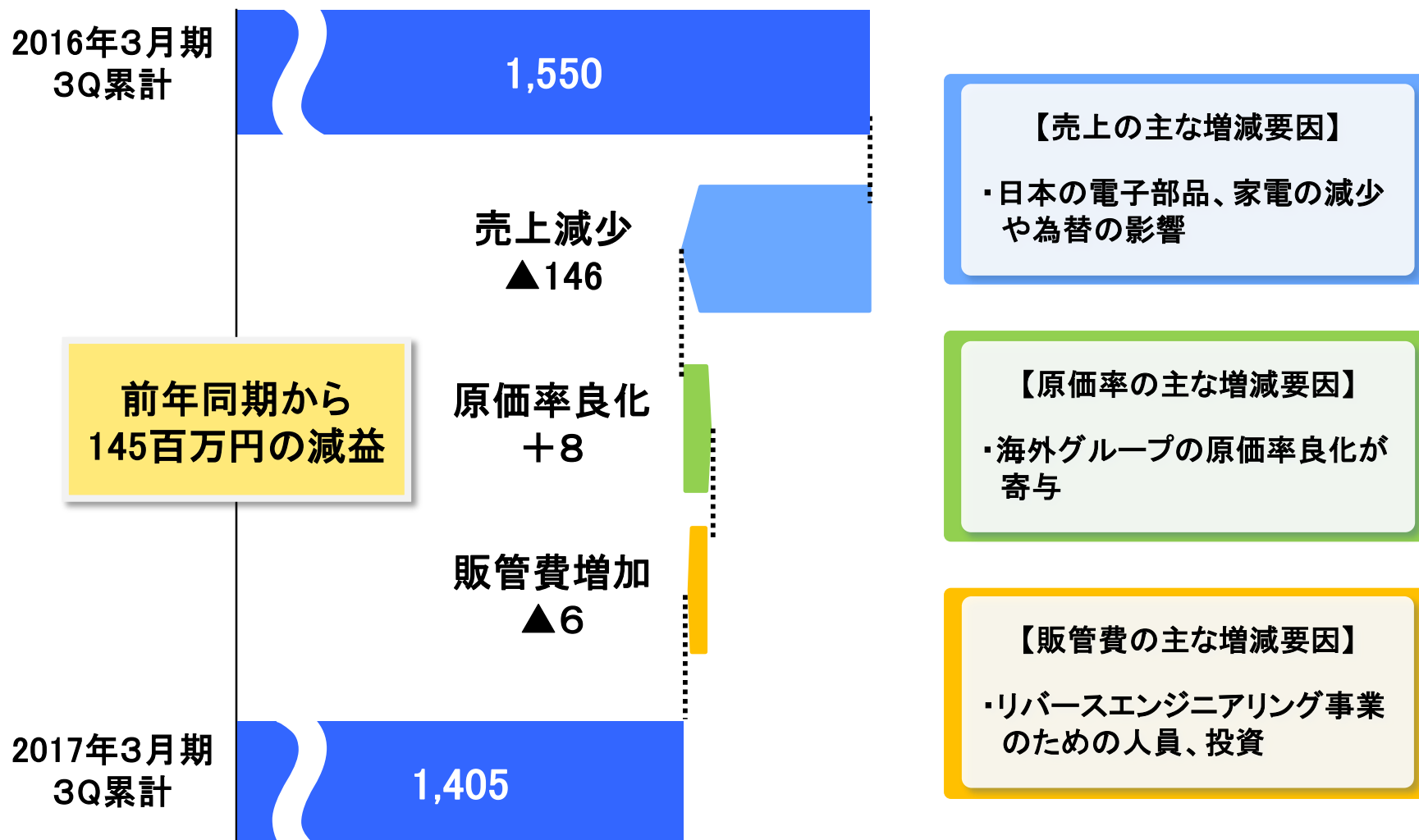


※2017年3月7日改訂



営業利益増減

(単位: 百万円)



財務状況

(単位:百万円)

	2016年3月期末	2017年3月期 第3四半期末	比較増減
総資産	27,337	27,256	▲81
総負債	13,338	14,736	1,397
うち有利子負債	5,429	6,673	1,243
純資産	13,999	12,520	▲1,479
ネット資金	▲2,108	▲3,710	▲1,602
自己資本比率	51.2%	45.9%	▲5.3pt

	2016年3月期 第3四半期累計	2017年3月期 第3四半期累計	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	867	2,366	1,499
減価償却費(無形固定資産含む)	1,067	1,024	▲43



2017年3月期通期連結業績予想数値の修正及び配当

(単位:百万円)

	2017年3月期					【参考】 2016年3月期 実績
	期初予想 (5/11公表)		修正予想 (11/10公表)		修正予想差 (修正予想比)	
売上高	37,000		35,700		▲1,300 (96.5%)	36,755
営業利益	5.4%	2,000	5.0%	1,800	▲200 (90.0%)	5.4% 1,986
経常利益	5.2%	1,935	4.8%	1,700	▲235 (87.9%)	4.5% 1,666
親会社株主に帰属 する当期純利益	3.8%	1,400	3.5%	1,250	▲150 (89.3%)	3.4% 1,249
2017年3月期 配当予想	中間 13円(実施) + 期末 13円 = 26円					



参考資料



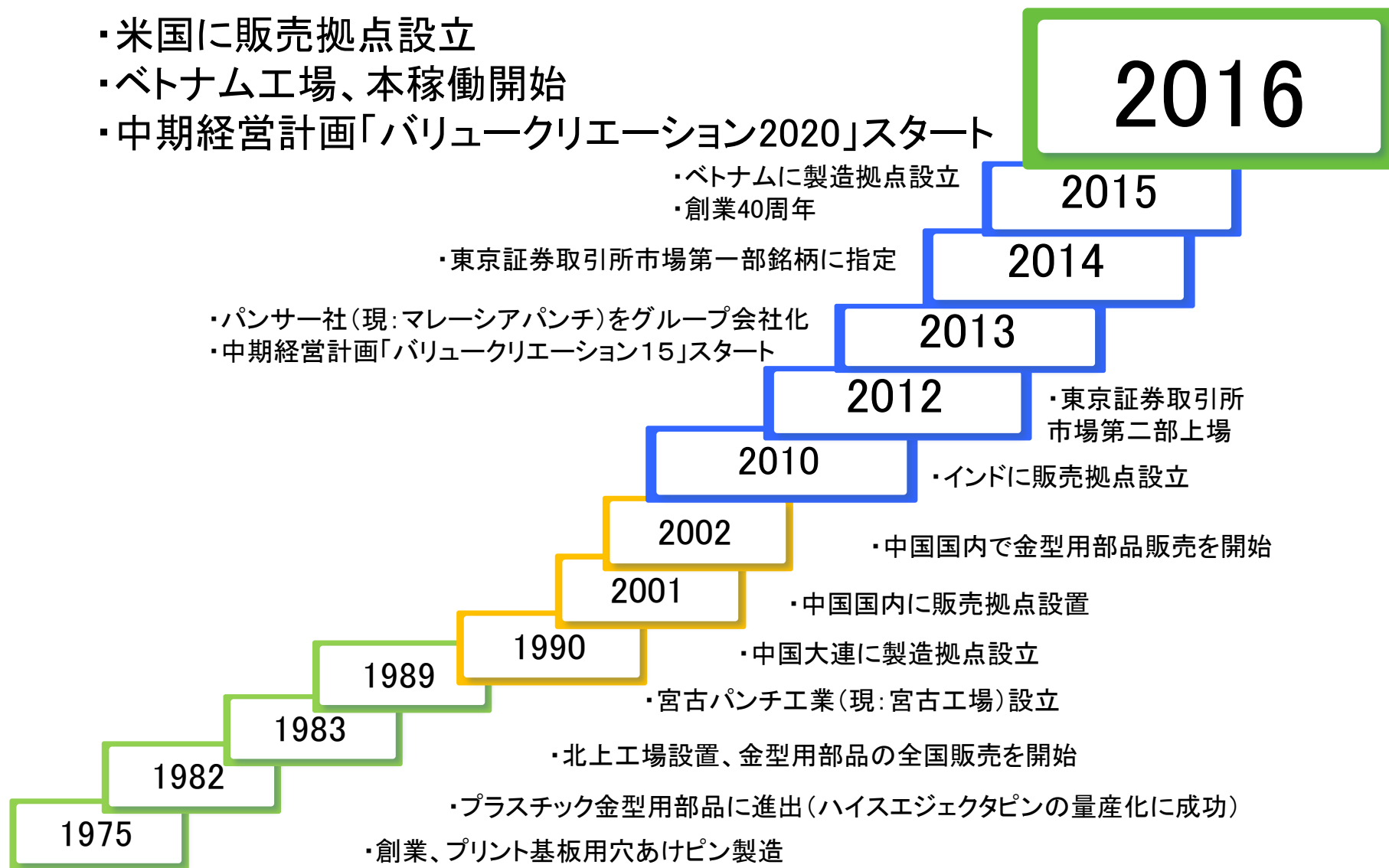
会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	3,836名(グループ連結、2016年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弾簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)

※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中であります。

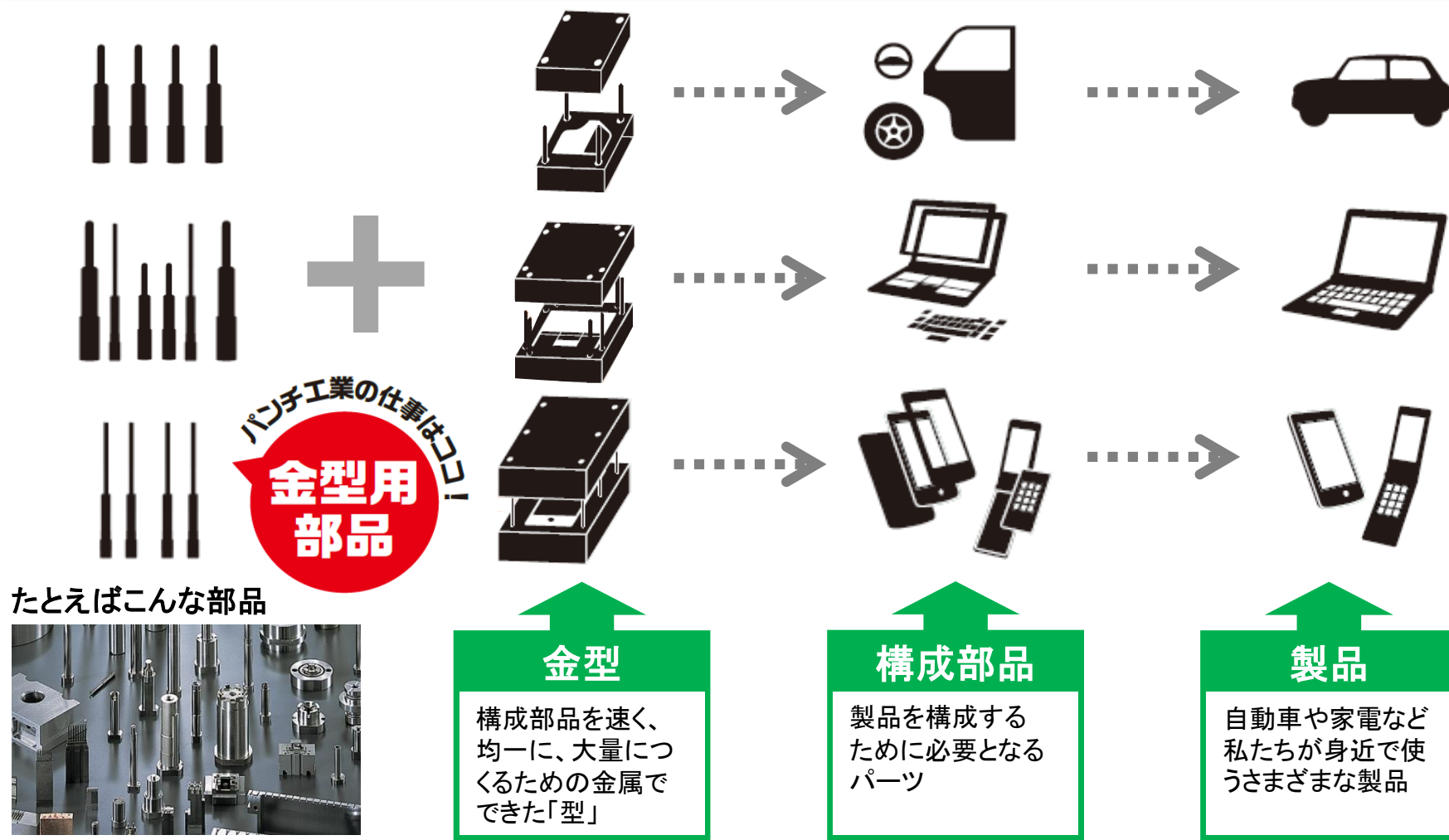


沿革

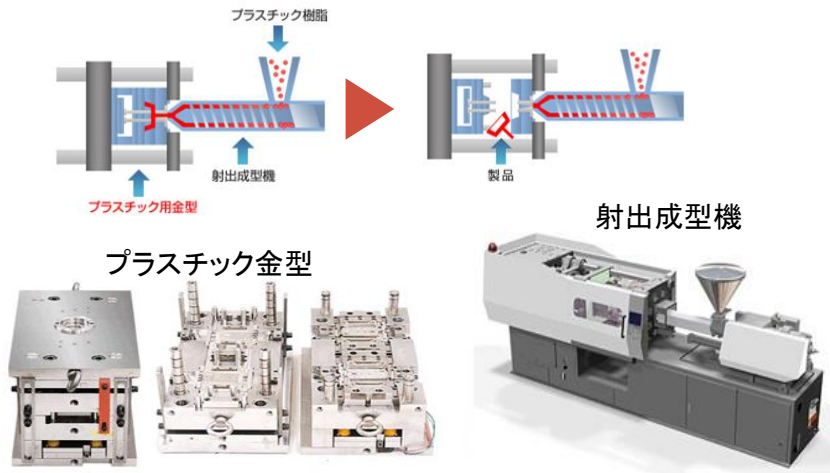


事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スリーブブシュ・ロケートリング

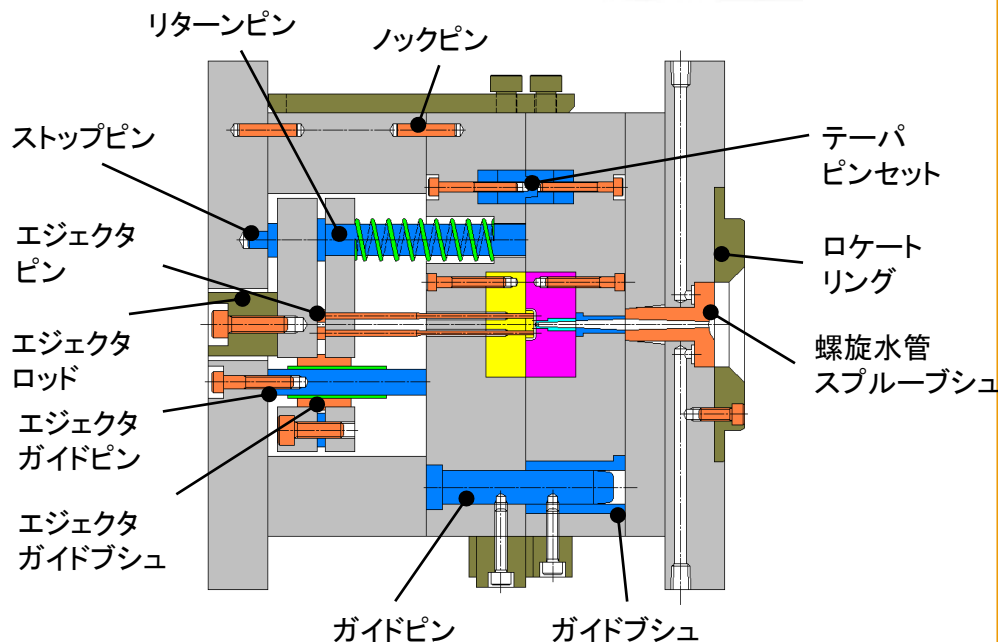
●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

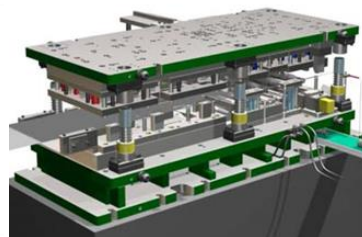
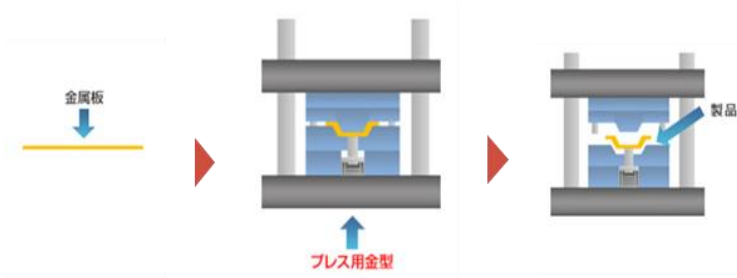
当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スリーブブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン... 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スリーブブシュ... 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



プレス金型と金型用部品



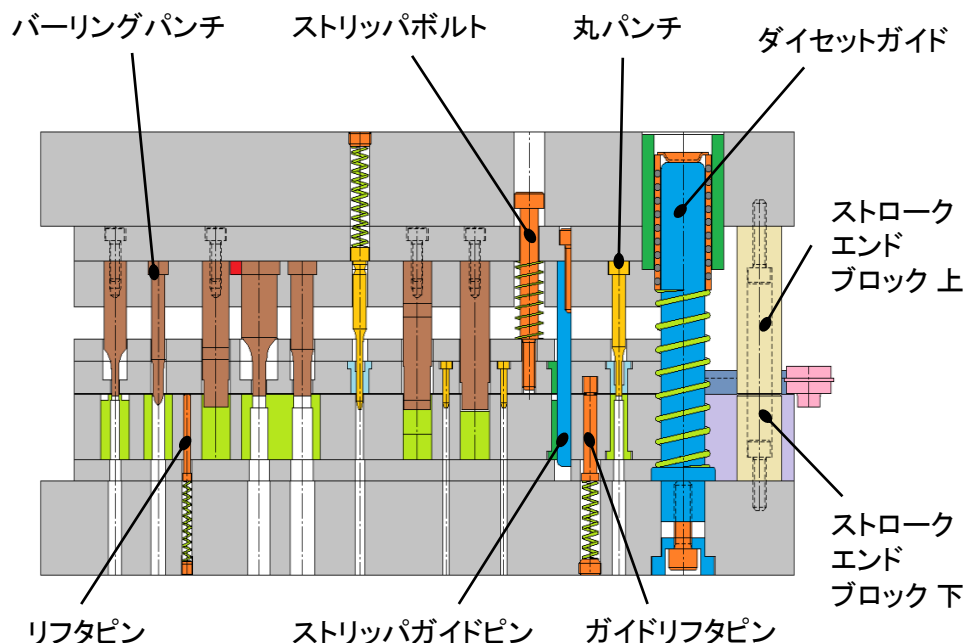
プレス金型



パンチ



ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

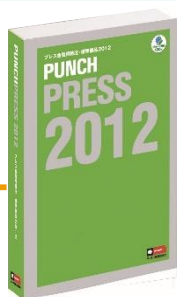
当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- | | |
|-----------|---|
| パンチ…………… | パンチは材料に押しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品 |
| ダイセットガイド… | 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品 |



パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

スピーディな
ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一気通貫の生産体制
1,800台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

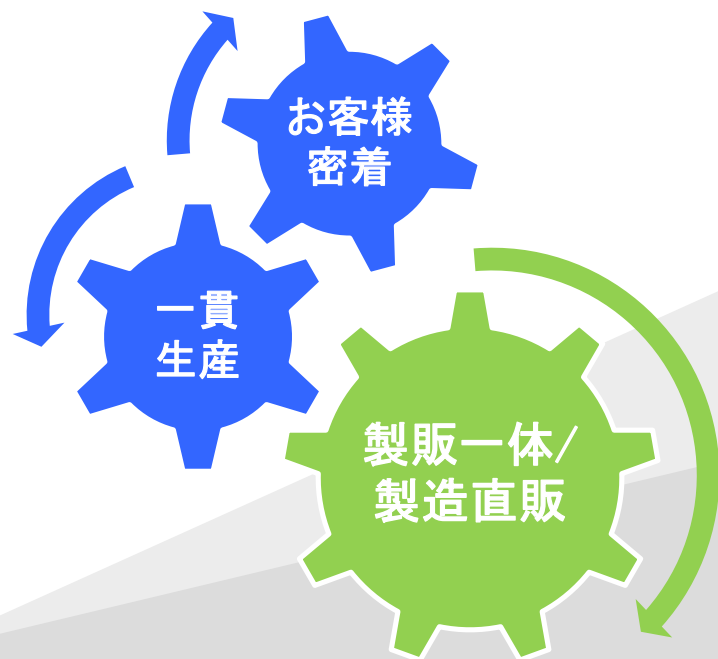


CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

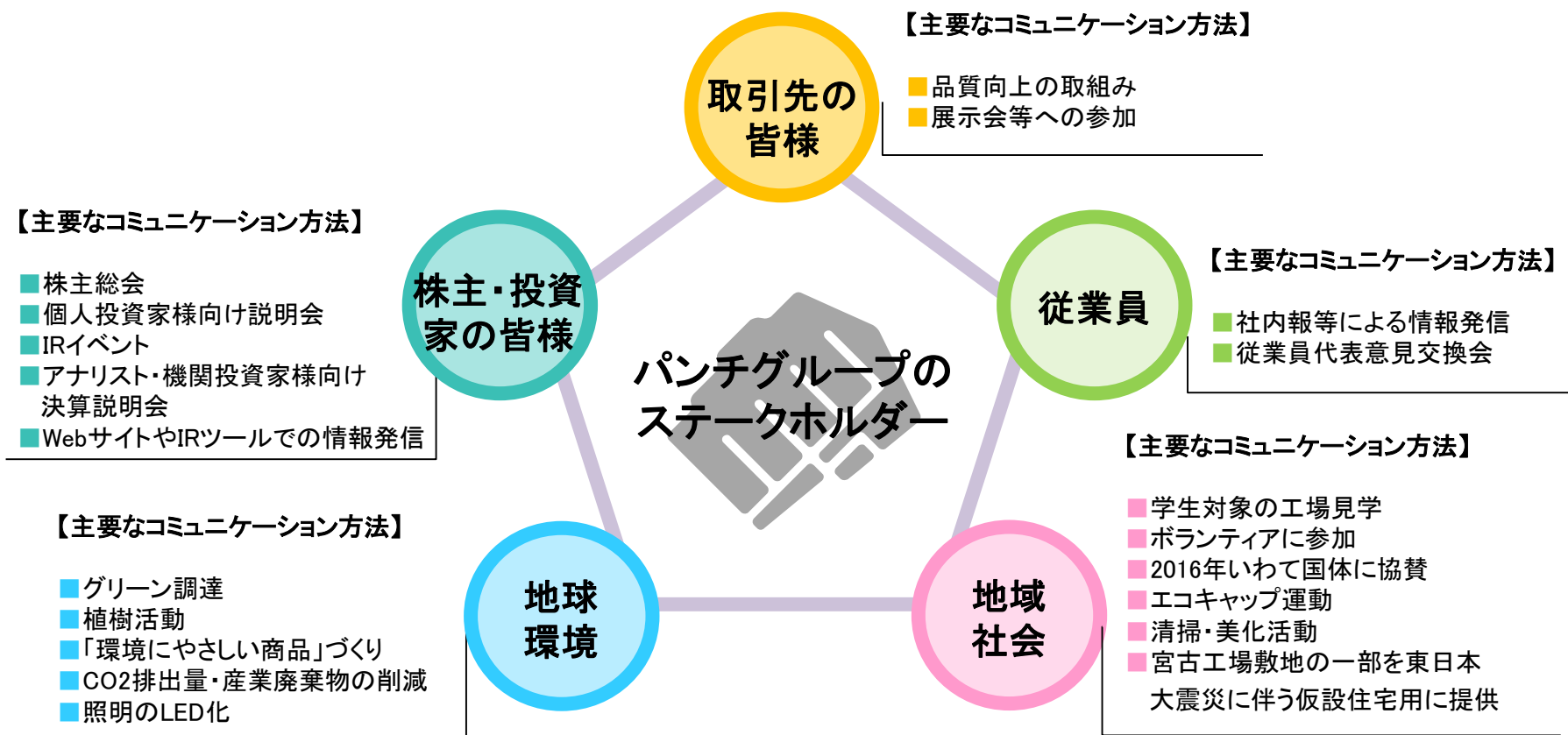
企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

ステークホルダーとのコミュニケーション



個人投資家様向け会社説明会の様子



植樹活動の様子



エコキャップ運動



【いわて北上マラソン】
マラソンボランティアの様子

本日は、誠にありがとうございました。



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。